

高品質栽培のための剪定技術を学ぶ

～桃剪定会～

ＪＡ津軽みらいもも生産協議会は3月8日、平川市の葛西理人さんの園地で桃の剪定会を開いた。会員約40人が参加。高品質な桃生産のための栽培技術向上と知識習得を目的としている。

秋田県鹿角市の佐藤志峰さんを講師に迎え、斜立主幹形の剪定について学んだ。佐藤さんは剪定ポイントや注意点について説明しながら実演指導を行った。「貯蔵養分が少ないと凍害になりやすくなる。凍害を防ぐには、枝の長さを短くし貯蔵養分を多くすることが大切」と呼びかけた。



剪定の実演作業をする佐藤さん

効率的栽培で収量と品質確保を目指す

～青天の霹靂研修会～

中南地域「青天の霹靂」生産指導プロジェクトチームは3月13日、藤崎町文化センターで「青天の霹靂」研修会を開いた。生産者ら約100人が出席した。

ＪＡ津軽みらい特Ａ米プレミアム研究会の工藤憲男会長が事例発表を行い、土づくりや施肥管理、育苗管理などについて心がけていることを説明した。

事例発表終了後はパネルディスカッションを行い、農業普及振興室やＪＡの職員らが工藤会長の栽培管理を徹底的に分析した後「収穫数量を増やすには、初期生育確保と適期田植え（5月15～20日頃）が重要となる。また、生育に応じて追肥する必要があるため、タイミングが遅くならないように注意してほしい」と呼びかけた。



工藤会長(左から2人目)の栽培管理を詳細に分析したパネルディスカッション

労務管理で雇用確保へ

～認定農業者経営セミナー～

津軽みらい農協認定農業者連絡協議会は3月20日、ＪＡ本店で認定農業者セミナーを開いた。認定農業者25人が参加した。

特定社会保険労務士の高地豊人氏が講師を務め、農業経営者が知るべき労務管理の基礎知識を学んだ。高地さんは「人材確保をするため、経営者は雇用環境を整える必要がある。農業は作業中に労災が起きやすい業種であるので、経営者は雇用者を守るために保険の加入や労働基準法を順守する」と説明した。



労務管理について説明する高地氏（右）

高品質スチューベンの栽培で最優秀賞

～平成30年度スチューベン立木品評会表彰式～

弘前地区農協ぶどう連絡協議会は3月12日、平川市の津軽南田温泉ホテルアップルランドで「平成30年度スチューベン立木品評会表彰式」を行い、当ＪＡの石川地区ぶどう生産部会と尾上ぶどう部会が最優秀賞などを受賞した。審査は昨年9月にＪＡ全農あおもりと中南地域県民局農業普及振興室の職員が行い、樹勢や整枝剪定、果実の品質などを審査した。

最優秀賞と県知事賞を受賞した尾上ぶどう部会の森内絹子さんは「最優秀賞と県知事賞を受賞することができてとても嬉しい。天候に左右されることもあったが、栽培管理を頑張った甲斐がある」と笑顔で話した。



最優秀賞と県知事賞を受賞した森内さん（右）